

令和8年度 第1回駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

【日 時】 令和8年5月27日（水）午後3時～

【場 所】 駒ヶ根市役所 本庁舎 3階 第5会議室

【出席委員】 18名（欠席：山下委員・酒井委員）

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

- 令和3年度から令和7年度までの「駒ヶ根市地域公共交通計画」に基づき、こまタクの運行や移動支援施策、公共ライドシェア実証実験などに取り組んできた。一方で、人口減少や高齢化、運転手不足等により、地域公共交通を取り巻く環境が厳しさを増している。
- 本年度から開始した「駒ヶ根市地域公共交通計画（第2期）」では、市民の移動を支えるセーフティーネットとしての役割を果たしながら、地域の賑わいや交流を創出する公共交通体系の構築を目指していきたい。

4 協議事項

（1）令和7年度事業

- ①事業報告
- ②決算報告・会計監査報告
- ③こまタク運行実績
- ④運転免許証自主返納支援事業実績
- ⑤割引タクシー券・福祉タクシー券実績

資料1

資料2

資料3

資料4

資料5

資料6

資料7

（質問等なし） ⇒ 全員挙手（承認）

（2）駒ヶ根市地域公共交通計画 設定目標に対する評価

資料8

（質問等なし） ⇒ 全員挙手（承認）

（3）令和8年度事業関連

- ①駒ヶ根市公共ライドシェア実証実験（案）

資料9-1

9-2

資料9-3

②公共交通マップ策定（案）

資料10

上条委員より質問

・前は29年度に作成したということだが、ダイヤ改正等にはどのように対応していたのか。
また、今回はどのように対応するのか。

⇒（事務局より回答）

・前はダイヤ改正に対応できていなかった。今回はダイヤ改正等に対応できるように委託事業者と相談して作成していく。

⇒（上条委員より意見）

・ダイヤ改正に合わせてデジタルでの更新に対応するとともに、必要に応じて最低限の部数を印刷するなど、無駄のないよう委託事業者と相談して進めていただきたい。

（ほか質問等なし）⇒ 全員挙手（承認）

5 報告事項

（1）山麓周遊バス実証実験

資料11

（2）駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画について

資料12

（3）いいちゃんバスの利用状況について

資料13

（4）駒ヶ根市ドライバー人材確保支援事業について

資料14

（5）公共交通利用促進イベントの実施について

資料15

（6）駒ヶ根市地域公共交通協議会規約一部改正について

資料16

（質問・意見等なし）

6 その他

（長野運輸支局より情報提供）

- ・国では、令和7年度から令和9年度にかけて、交通空白解消対策期間と位置付けている。
- ・皆様には公共交通の積極的なご利用をお願いしたい。

（長野県上伊那地域振興局より情報提供）

- ・県では、みすずハイウェイバスを4往復から7往復に増便したことに加え、特急便も新設した。ぜひみすずハイウェイバスの利用をお願いしたい。また、鉄道も地域にとっては重要な公共交通なので、JR飯田線も積極的に利用いただきたい。

(駒ヶ根市より連絡事項)

- ・こまタクの利用促進として、こまタク未経験者を対象に、8月3日～3月31日にかけてお試し乗車券の交付を計画している。
- ・7月もしくは11月ごろに自動運転の視察を検討している。視察先は塩尻で、協議会で10名程度募集して行う予定。

・下平委員から質問

くらすわの森が休業する報道があったが、これは事実か。また、山麓周遊バスにどのように影響がでてくると考えているか。

⇒ (事務局からの回答)

くらすわの森が7月末より休業になるのは事実である。これまでもくらすわの森の停留所では、養命酒工場の見学を案内していたこともあり、乗降者数に大きく影響がでるとは考えていない。

7 閉 会